

おもいやり消費イベント オリジナルミニミュージカル

「みんな愛顔～2019秋～」

坊っちゃん劇場 アウトリーチ事業部

脚本・演出 近藤 誠二

音楽 山本 太郎

登場人物

カナ ショッピングセンター内の青果売り場店員 清の孫

清 ミカン農家 カナの祖父

寛子 主婦 寛子の母親

サヤ 寛子の娘

真司 ケーキ店店主 ハルの父親

ハル 真司の娘

こまどりのP i p i 愛媛県消費生活相談窓口イメージキャラクター

みきちゃん 愛媛県イメージアップキャラクター（愛顔PR特命副知事）

歌1 「みかんに声かけ」

場面1

ミカンに感謝の声を掛けながら収穫作業をしている清。

ミカンの収穫を手伝いに来たカナに清がみかん作りへの思いを語る。

カナは清に「心を込めてミカンを売るね」と伝える。

清は、カナの勤めるショッピングセンターにオシャレして行くと、カナに話す。

喜ぶカナ。

歌2 「誰かが笑顔になったらば」

場面2-1 ショッピングセンターの青果売り場

カナがミカンや紅マドンナを売っているところに、みきちゃんとこまどりのP i P i がやってくる。

みきちゃん 自己紹介。

P i P i 自己紹介の後、消費生活センターとおもいやり消費について説明。

豪雨災害にあったおじいちゃんのみかんを地域の人に売ることもおもいやり消費につながっていると知って、更にやる気になるカナ。

歌3 「おもいやり消費って何？」

場面2-2 ショッピングセンター

寛子・サヤ母子、真司・ハル父子がショッピングセンターで買い物をしながら、食品ロス削減、地産地消、フェアトレードについて会話。

場面2-3 ショッピングセンターの青果売り場

清がカナの勤める青果売り場にやって来る。自分か作った紅マドンナやミカンが売られているのを見て更にミカン作りを頑張ろうと思う。

歌4 「夢を信じて」

場面3 真司のケーキ店

ケーキが思うように売れずうなだれる真司。売れ残ったケーキを廃棄しようとしていると、ハルがやってきて「まだ美味しいのに捨てるのはもったいない。いつか美味しさがお客さんに伝わる」と、真司を元気づける。

歌5 「誰かが笑顔になったらば」

真司の店に寛子とサヤが来店する。

サヤが寛子にこの店のイチゴショートケーキが美味しいと話しかけ、寛子がイチゴショートケーキを注文する。

真司が、作って時間が経過して味が落ちているので廃棄するところだと言うと、寛子が「もったいない！値引きして売って見たらどうか」と提案する。

清とカナもやって来てイチゴショートケーキを注文すると、寛子が「こだわりが強すぎてもう無い」とチャチャを入れる。

ハルの提案でみんなで試食すると、みんなから美味しい、捨てるのはもったいないと言われ、考えこむ真司。

清が真司の腕を見込んで、自分が作ったミカンでケーキを作ってみないかと提案し、受け入れる真司。

歌6 テーマソング「みんな愛顔」